

2003年6月10日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

Ellacoya の IP サービススイッチ国内販売を開始 ～米国 Ellacoya Networks 社と国内販売代理契約を締結～

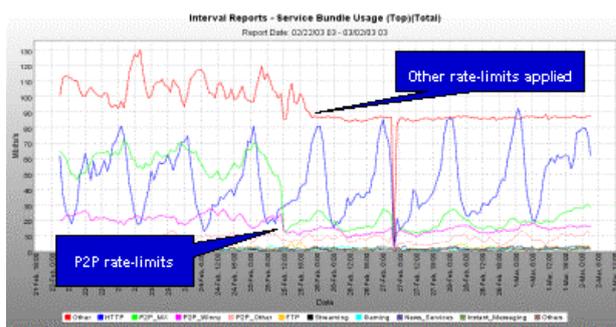
記

RiverStone Networks や NetScreen の正規代理店である株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表：渡部進、以下略称：NVC）は、Ellacoya Networks 社（本社：Merimack, NewHampshire, CEO：Ron Sege、以下略称 Ellacoya）と日本における販売代理店契約を締結し、国内サービスプロバイダ向けに販売を開始する。インターネットサービスプロバイダや通信キャリア、CATV キャリアや不特定多数なネットワーク利用を見込まれる公共施設、学校やキャンパスネットなどを対象に販売展開する。価格はシャーシ構成で約 300 万円から提供し、本年度 5 億円の売上げを見込んでいる。

インターネットアクセスの多様化、且つ高速化、ブロードバンドアプリケーションの登場に伴いトラフィックが増加し、インターネット内を流れるデータ種別やユーザのニーズも変化してきています。サービスプロバイダは、高速アクセス回線を提供するだけでなく IP サービスアプリケーションを制御し、信頼度の高いインターネット接続環境を提供することが求められます。Ellacoya 社の IP サービススイッチは、増大する P2P トラフィックの制御、ユーザ認証及びプレミアムサービスを提供し、高付加価値な IP サービスをブロードバンドネットワーク上で実現します。

高精度のトラフィック制御

米国の某 ISP で P2P の Traffic を測定したところ、Traffic 全体の 50～70%が P2P (port 番号で判別できる種類の P2P) だったという例があります。また、残りの 30～50%の Traffic が、この内の更に 50～90%が P2P (port 番号では判別できない種類の P2P) だったという結果がありました。国内の CATV でも P2PTraffic の測定をした結果、1 週間弱で 5GB 以上のファイル転送をしていた加入者が 100 人、WinMX (P2P) Traffic が 1.2TB 以上（もちろん HTTP Traffic より多い）という結果がでています。もちろん一般の加入者からも多くのクレームが上がる状態です。しかし Ellacoya 社の IP サービススイッチは、独自のトラフィック制御方式で加入者に依存することなく P2P トラフィックを制御し IP サービスを保証します。



Ellacoya 製品の特徴 (4000/1600 Service Switch)

- ユーザにフェアなサービス提供を可能にするサービススイッチ
- 高精度な IP サービス制御機能により、使用帯域とアプリケーショントレンドを把握し、急増する P2P トラフィックも制御可能
- 多様なユーザ認証機能によりユーザを特定したサービス提供可能・イーサネットを最大限活用することによるコスト削減

1600 Service Switch	4000 Service Switch
	
12 ポート 10/100 Eth & 2 ポート GbE モデル 4 ポート GbE モデル 4Gbps ノンブロッキング・ファブリック	12 ポート 10/100 Eth & 2 ポート GbE モデル 3Gbps ノンブロッキング・ファブリック
L2/L3 機能 802.1d STP, VLAN, IGMP Snooping, IGMPv2 OSPF (ECMP)&Static Routing, IGMP Multicasting, VRRP	

話題の P2P トラフィックの問題

P2P トラフィックはインターネットを介したファイル交換通信で、システムを脅かすハードウェア的側面と交換されるソフトウェアの側面で問題がある。P2P トラフィックは、下りを多く割り当てているネットワークシステムに下りと同等の通信帯域が上りに必要になるなどネットワークシステムがアンバランスになってしまうなどの問題や、ごく一部のユーザで帯域を使ってしまうため一般的なユーザは通信速度が出ないなど問題が発生。ISP は、サービス収入が減少している状況下でネットワーク投資を続けなくてはならないという悪循環に陥ります。(象徴的な例としては、某プロバイダで2名のユーザで帯域の80%を消費している極端な例も存在した。)

また、著作権を侵害するコンテンツが簡単に流通されてしまうなど犯罪の温床になる危険性がある。交換されているコンテンツ(音楽、映画、写真等)は非合法のものが多く、利用者は帯域制限や通信遮断を逃れる目的でポートを随時かえるなどしている場合が多い。ウイルスなどにおいても無対策でISPとしての管理責任を迫られる可能性がある。このような状況下で Ellacoya の IP サービス制御機能は必要とされている。

【Ellacoya Networks 社について】

Ellacoya Networks 社は、1999 年に IP サービススイッチベンダとして設立、2002 年に主なターゲットを IP Service Control System と変更、再製品化し好評を博し現在に至っている。オフィスは米国ニューハンプシャー州マーベリックにあり、現在 55 名のスタッフで運営している。

以 上